

(一社) 福井県子ども会育成連合会 令和2年度 活動方針

子どもたちに輝きを求めて

～子ども会の原点である地域での育成力を高めよう～

価値観が多様化する中、核家族化・少子化・都市化・情報化等の社会構造の変化は、子どもたちが世界へ羽ばたく機会を増やしたり、個性を発揮できる場を増やしたりとプラスの面がある一方で、ネットいじめや非行の低年齢化、若者の不安定な就労や親への長期依存など新たな問題を生み出しています。子ども会においても、全国的には少子化による会員数の自然現象だけでなく、子ども会活動に必要性や魅力を感じないという理由での子ども会離れが進んでいるのが現状です。

自立の基盤となる地域社会の中で、子ども達が様々な体験活動に参加し、多くの人々と交流することは極めて重要であり、今の時代だからこそ、子ども会活動の重要性が再認識されるべきだと考えます。子ども会は、地域での子どもの育ちを保障する営みであり、行政と協働しながら地域の教育力の核となって、青少年の健全育成を推進する大事な役割を担っています。子ども会は、子どもにとっては居場所であり、子ども会の特長である異年齢集団活動を通して、郷土愛を育み、社会性を涵養するなど、子どもたちの育ちに大きな教育的効果を与えています。また、ジュニア・リーダーやユース・リーダーといった青年指導者達の育成・活動支援は子ども会の活性化だけでなく、社会的にも優れた人材の育成に繋がっています。

子ども会の理念である「子どものための子どもの手による子ども会活動」は、子どもたちの自主性を促し、子どもたち自身にとっても大きな魅力となっています。福井県子ども会育成連合会は、一般社団法人という公的責任を持って県下の子ども会活動の振興に寄与するとともに、子ども会活動の原点である地域での育成力を培い、地域に根差した活動をより一層充実させなければなりません。

福井県子ども会育成連合会は、子ども会の理念とそれに基づいた活動の魅力を強く発信し、「太陽のように温かい心を持ち、地域で明るく輝き、家族の絆を深める」未来を担う『ふくいっ子』の育成に全力で努めます。

【重点項目】

- 県下6地区および市町子連や単位子ども会との連携強化
- 学校・行政・公民館等と連携した「子ども会の地域活動」の推進と地域での育成力の養成
- 子ども会の活性化と子ども会活動の広報の強化
- 県ユース・リーダーや県内シニア及びジュニア・リーダーの拡充と資質向上
- 子ども会安全啓発教育の充実と「安全・安心な子ども会活動」の推進